

安全だね 安心だね タクシーのある暮らし

上田市のタクシーの現状

○上田市内のタクシー利用者は61万人(平成23年度)。

○上田市タクシー事業区域は「特定地域」(平成21年)に指定。

「タクシー事業の適正化及び活性化に関する特別措置法」(平成21年法律第64号)により、国土交通大臣は、上田市A地域(旧上田市)を特定地域に指定しました。

タクシーが将来にわたり地域の公共交通機関として重要な役割を担っており、タクシー事業の収益基盤や運転者の労働条件の悪化等の諸問題の解決を図り、その機能を十分に発揮できるようにすることが目的です(大臣告示1036号、同法による基本方針)。

特定地域協議会が設置され適正化・活性化の具体的な「計画・実施・検証」が繰り返されています。

- ・国が示した適正車両数までタクシー車両を削減、現在93両(-22.5%)。
- ・真田十勇士ラッピング車等の観光振興、地域貢献活動等のタクシー活性化計画策定・実施中。

運賃低減バス運行計画案によりますと

上田駅から菅平までバス500円(タクシー9,000円)、鹿教湯バス500円(タクシー7,000円)。
運賃格差大きくタクシーの選択余地なし。市街地でも同様にインパクト大きく選択余地なし。

区分	平成23年度収支	運賃低減バス運行後の予測
	上田市内タクシー事業者 本社所在6社の集計 旅客自動車報告規則に基づく数値	
経常収支	-3,056千円	-21,833千円
収支率	99.5%	95.9%
純資産額	24,889千円	0千円

債務超過→運転資金不足・経営維持困難→人員整理

タクシーがつかまらない！ 予約が受けられない！

夜間等の緊急時の個別輸送、高齢者・交通弱者の外出、休日の公共交通どうなる？

上田市のタクシー利用者61万人の安全・安心の移動確保は？